

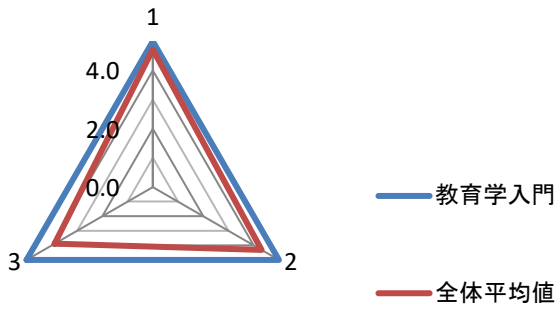
令和4年度第2学年前期「教育学入門」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
3	2	67%

実施時期(令和4年8月29日～令和4年9月4日)

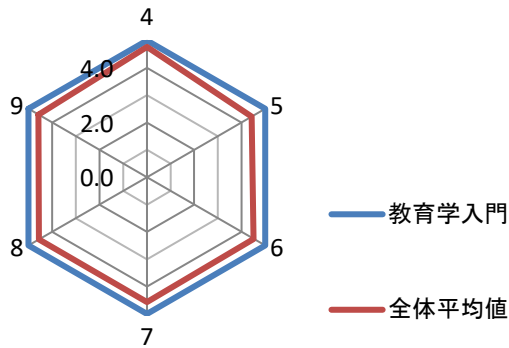
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	教育学入門	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	5.0	4.7	4.5	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	5.0	4.3	3.8	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	5.0	3.9	3.1	5.0

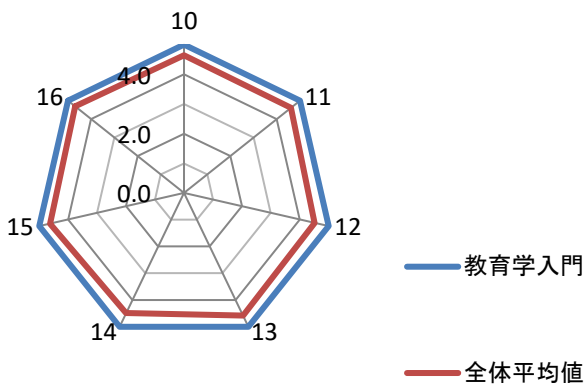
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	教育学入門	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	5.0	4.8	4.5	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	5.0	4.4	4.0	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	5.0	4.5	4.0	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	5.0	4.6	4.3	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	5.0	4.6	4.0	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	5.0	4.6	4.3	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	教育学入門	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	5.0	4.6	4.2	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	5.0	4.6	4.2	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	5.0	4.5	4.0	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	5.0	4.6	3.8	5.0
14 オンライン動画、ライブ配信(ZOOM)授業のよび資料などの使い方・内容が適切であった。	5.0	4.5	3.8	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	5.0	4.6	3.9	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	5.0	4.7	4.3	5.0

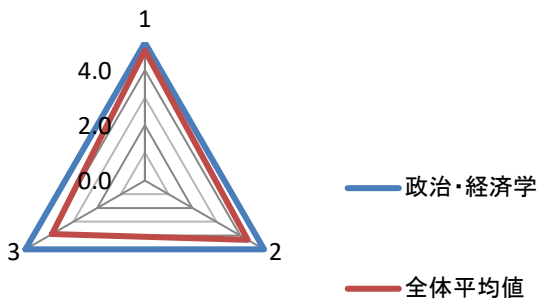
令和4年度第2学年前期「政治・経済学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
6	1	17%

実施時期(令和4年8月29日～令和4年9月4日)

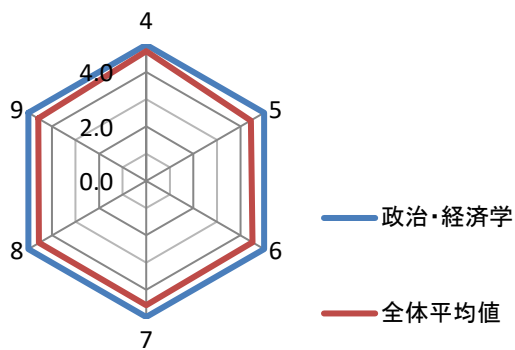
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	政治・経済学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した	5.0	4.7	4.5	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った	5.0	4.3	3.8	5.0
3 教員に授業内容について質問した	5.0	3.9	3.1	5.0

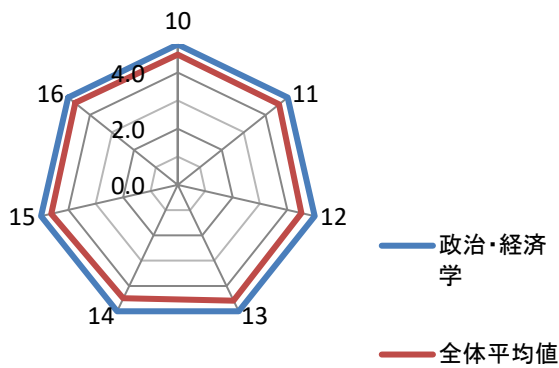
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	政治・経済学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた	5.0	4.8	4.5	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった	5.0	4.4	4.0	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった	5.0	4.5	4.0	5.0
7 授業内容に興味を持てた	5.0	4.6	4.3	5.0
8 知的好奇心が刺激された	5.0	4.6	4.0	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた	5.0	4.6	4.3	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	政治・経済学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった	5.0	4.6	4.2	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった	5.0	4.6	4.2	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった	5.0	4.5	4.0	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した	5.0	4.6	3.8	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった	5.0	4.5	3.8	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった	5.0	4.6	3.9	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた	5.0	4.7	4.3	5.0

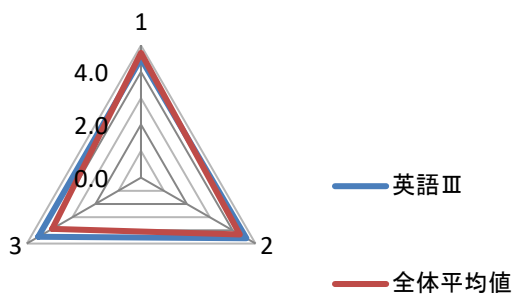
令和4年度第2学年前期「英語Ⅲ」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
86	11	13%

実施時期(令和4年8月29日～令和4年9月4日)

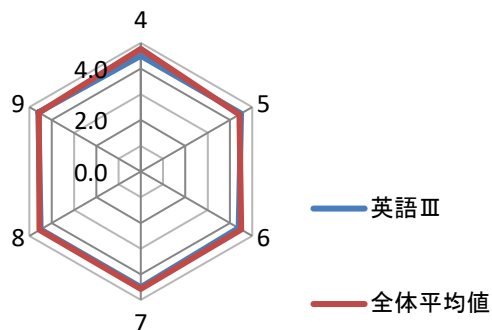
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	英語Ⅲ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.5	4.7	4.5	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.6	4.3	3.8	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	4.5	3.9	3.1	5.0

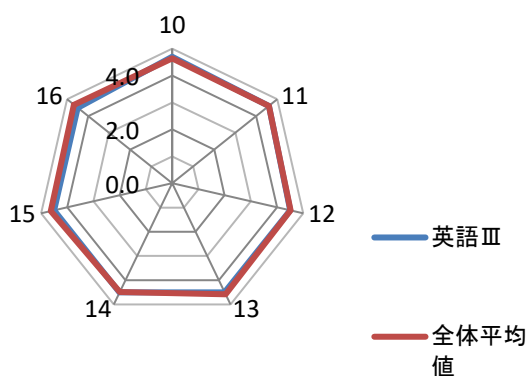
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	英語Ⅲ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.5	4.8	4.5	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.5	4.4	4.0	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.4	4.5	4.0	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.5	4.6	4.3	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.5	4.6	4.0	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.6	4.6	4.3	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	英語Ⅲ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.7	4.6	4.2	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.6	4.6	4.2	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.5	4.5	4.0	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.5	4.6	3.8	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型 (Zoom) 授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.5	4.5	3.8	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.5	4.6	3.9	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.5	4.7	4.3	5.0

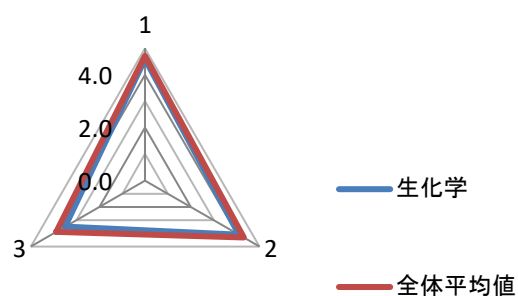
令和4年度第2学年前期「生化学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
87	12	14%

実施時期(令和4年8月29日～令和4年9月4日)

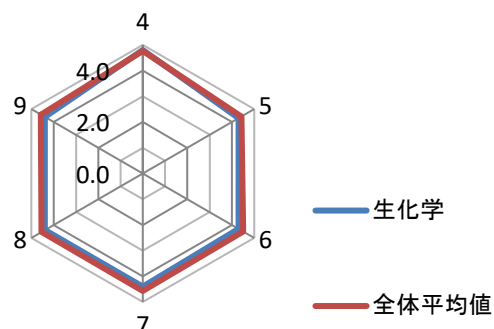
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	生化学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.6	4.7	4.5	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.1	4.3	3.8	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	3.5	3.9	3.1	5.0

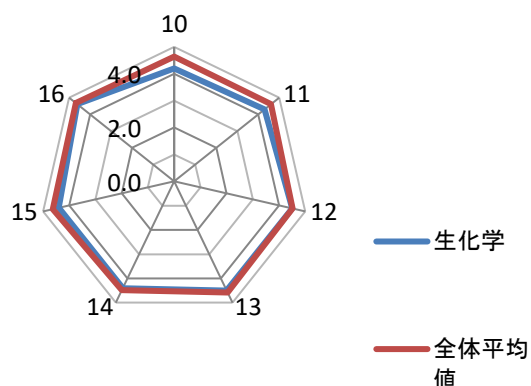
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	生化学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.8	4.8	4.5	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.3	4.4	4.0	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.3	4.5	4.0	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.4	4.6	4.3	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.4	4.6	4.0	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.4	4.6	4.3	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	生化学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.2	4.6	4.2	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.3	4.6	4.2	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.5	4.5	4.0	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.5	4.6	3.8	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.4	4.5	3.8	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.4	4.6	3.9	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.6	4.7	4.3	5.0

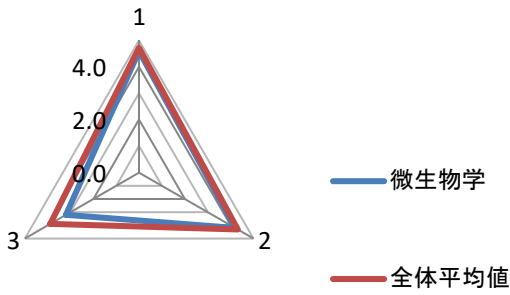
令和4年度第2学年前期「微生物学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
80	18	23%

実施時期(令和4年8月29日～令和4年9月4日)

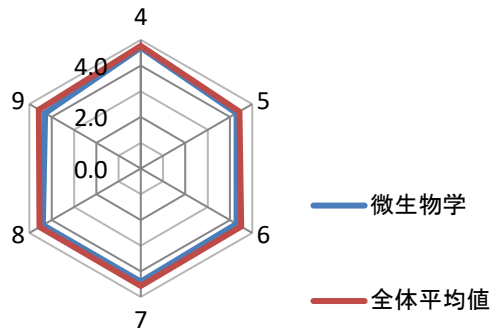
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	微生物学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.6	4.7	4.5	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.2	4.3	3.8	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	3.2	3.9	3.1	5.0

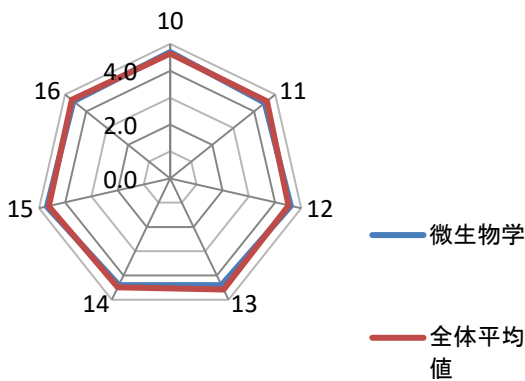
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	微生物学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.7	4.8	4.5	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.3	4.4	4.0	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.3	4.5	4.0	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.4	4.6	4.3	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.4	4.6	4.0	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.3	4.6	4.3	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	微生物学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.7	4.6	4.2	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.5	4.6	4.2	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.6	4.5	4.0	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.4	4.6	3.8	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.4	4.5	3.8	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.7	4.6	3.9	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.6	4.7	4.3	5.0

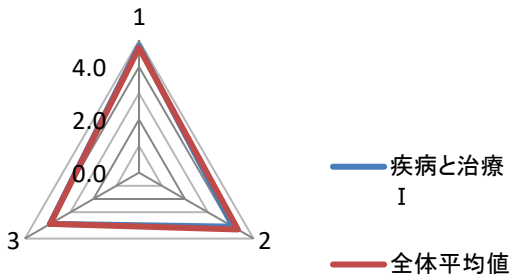
令和4年度第2学年前期「疾病と治療 I」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
86	10	12%

実施時期(令和4年8月29日～令和4年9月4日)

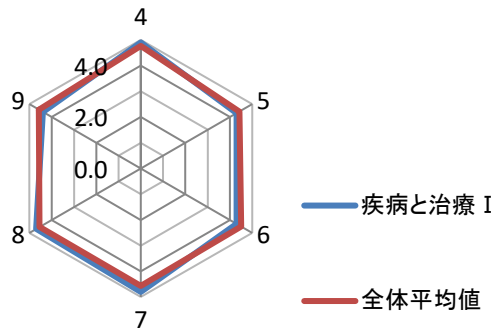
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	疾病と治療 I	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.8	4.7	4.5	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.1	4.3	3.8	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	3.9	3.9	3.1	5.0

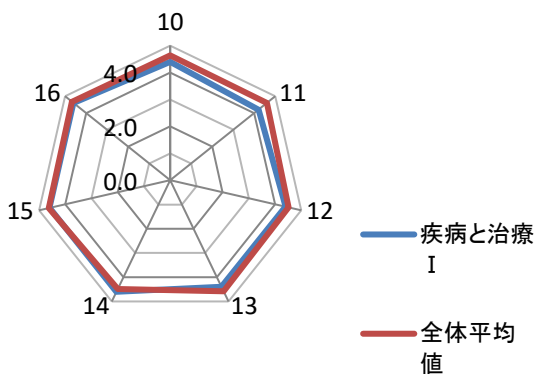
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	疾病と治療 I	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.9	4.8	4.5	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.3	4.4	4.0	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.3	4.5	4.0	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.8	4.6	4.3	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.7	4.6	4.0	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.4	4.6	4.3	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	疾病と治療 I	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.4	4.6	4.2	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.2	4.6	4.2	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.4	4.5	4.0	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.4	4.6	3.8	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型 (Zoom) 授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.6	4.5	3.8	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.6	4.6	3.9	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.6	4.7	4.3	5.0

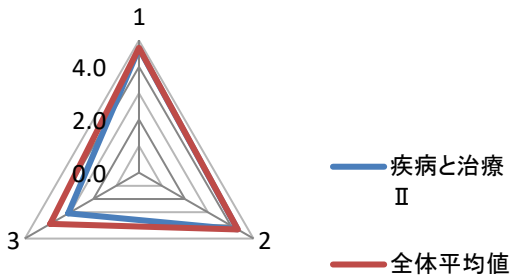
令和4年度第2学年前期「疾病と治療Ⅱ」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
86	11	13%

実施時期(令和4年8月29日～令和4年9月4日)

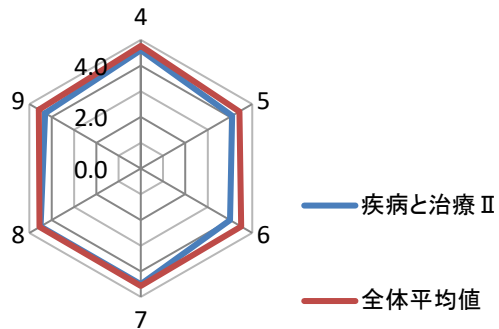
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	疾病と治療Ⅱ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.7	4.7	4.5	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.3	4.3	3.8	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	3.1	3.9	3.1	5.0

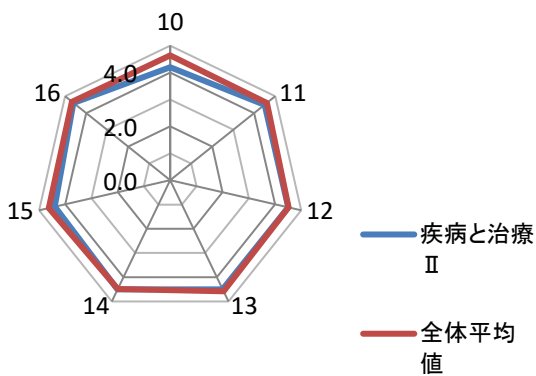
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	疾病と治療Ⅱ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.6	4.8	4.5	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.1	4.4	4.0	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.0	4.5	4.0	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.5	4.6	4.3	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.5	4.6	4.0	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.3	4.6	4.3	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	疾病と治療Ⅱ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.2	4.6	4.2	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.5	4.6	4.2	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.5	4.5	4.0	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.5	4.6	3.8	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.5	4.5	3.8	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.4	4.6	3.9	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.6	4.7	4.3	5.0

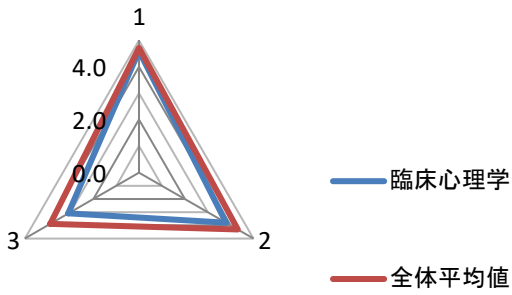
令和4年度第2学年前期「臨床心理学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
67	9	13%

実施時期(令和4年8月29日～令和4年9月4日)

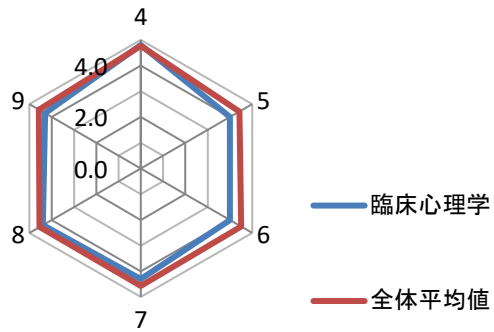
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	臨床心理学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.6	4.7	4.5	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	3.8	4.3	3.8	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	3.1	3.9	3.1	5.0

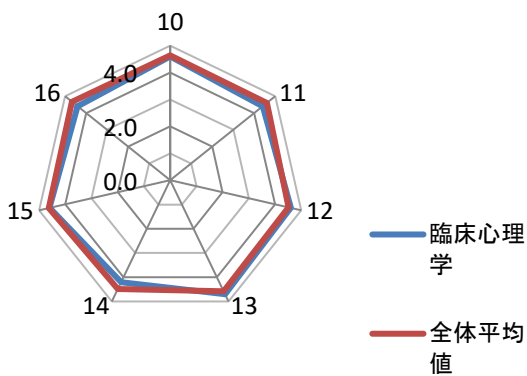
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	臨床心理学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.8	4.8	4.5	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.0	4.4	4.0	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.0	4.5	4.0	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.3	4.6	4.3	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.4	4.6	4.0	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.3	4.6	4.3	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	臨床心理学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.6	4.6	4.2	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.4	4.6	4.2	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.6	4.5	4.0	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.7	4.6	3.8	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型 (Zoom) 授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.2	4.5	3.8	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.6	4.6	3.9	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.4	4.7	4.3	5.0

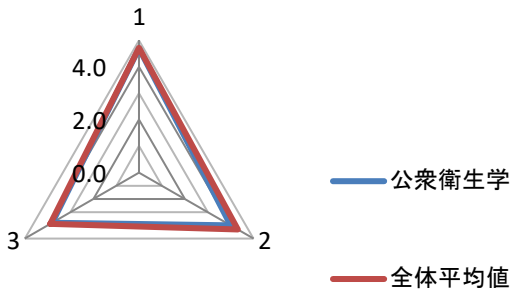
令和4年度第2学年前期「公衆衛生学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
86	6	7%

実施時期(令和4年8月29日～令和4年9月4日)

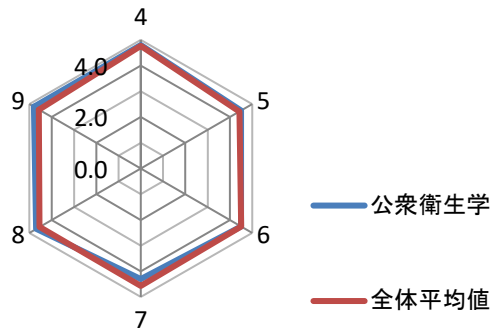
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	公衆衛生学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.7	4.7	4.5	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.0	4.3	3.8	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	3.8	3.9	3.1	5.0

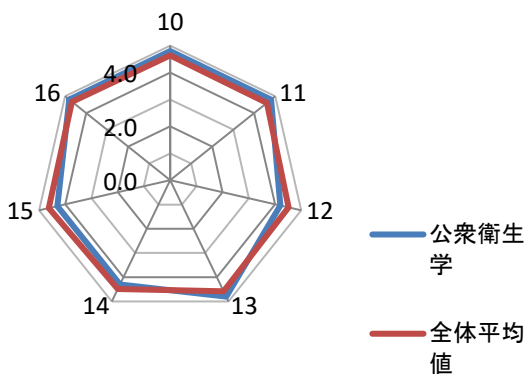
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	公衆衛生学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.8	4.8	4.5	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.5	4.4	4.0	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.5	4.5	4.0	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.3	4.6	4.3	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.7	4.6	4.0	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.8	4.6	4.3	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	公衆衛生学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.8	4.6	4.2	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.8	4.6	4.2	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.2	4.5	4.0	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.8	4.6	3.8	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型 (Zoom) 授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.3	4.5	3.8	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.3	4.6	3.9	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.8	4.7	4.3	5.0

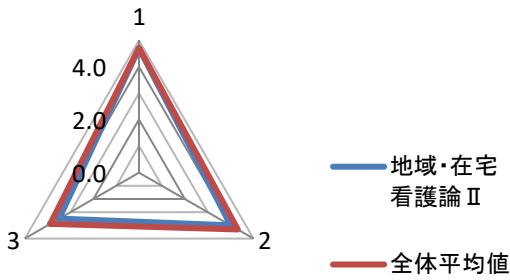
令和4年度第2学年前期「地域・在宅看護論Ⅱ」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
86	6	7%

実施時期(令和4年8月29日～令和4年9月4日)

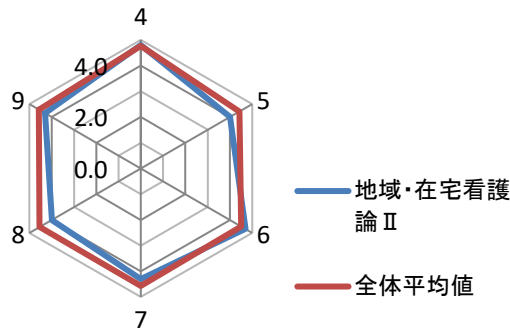
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	地域・在宅看護論Ⅱ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.7	4.7	4.5	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.0	4.3	3.8	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	3.5	3.9	3.1	5.0

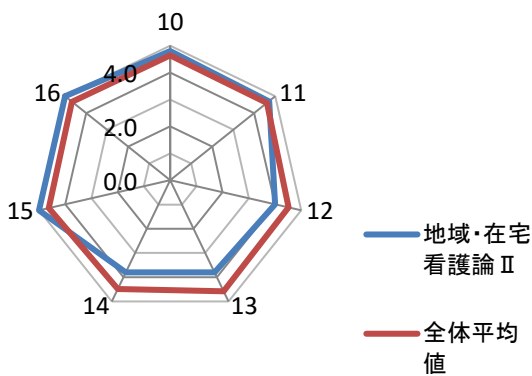
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	地域・在宅看護論Ⅱ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.8	4.8	4.5	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.0	4.4	4.0	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.7	4.5	4.0	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.3	4.6	4.3	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.0	4.6	4.0	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.3	4.6	4.3	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	地域・在宅看護論Ⅱ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.8	4.6	4.2	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.7	4.6	4.2	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.0	4.5	4.0	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	3.8	4.6	3.8	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	3.8	4.5	3.8	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	5.0	4.6	3.9	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	5.0	4.7	4.3	5.0

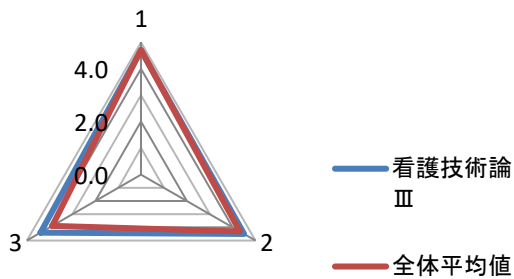
令和4年度第2学年前期「看護技術論Ⅲ」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
86	10	12%

実施時期(令和4年8月29日～令和4年9月4日)

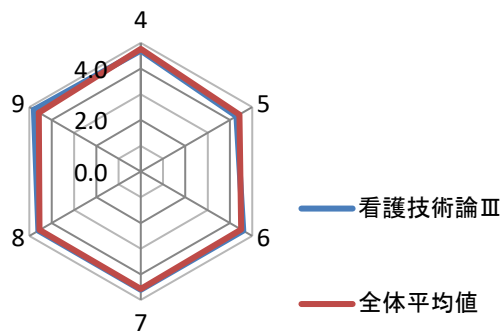
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	看護技術論Ⅲ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.7	4.7	4.5	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.5	4.3	3.8	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	4.4	3.9	3.1	5.0

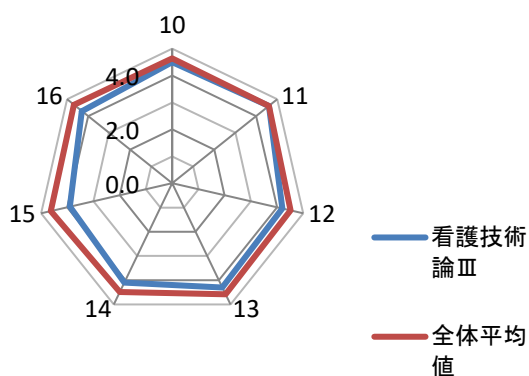
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	看護技術論Ⅲ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.7	4.8	4.5	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.3	4.4	4.0	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.6	4.5	4.0	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.6	4.6	4.3	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.6	4.6	4.0	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.8	4.6	4.3	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	看護技術論Ⅲ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.5	4.6	4.2	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.6	4.6	4.2	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.2	4.5	4.0	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.3	4.6	3.8	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型 (Zoom) 授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.1	4.5	3.8	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	3.9	4.6	3.9	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.3	4.7	4.3	5.0

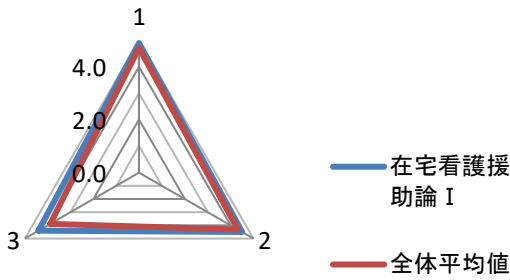
令和4年度第2学年前期「在宅看護援助論Ⅰ」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
86	13	15%

実施時期(令和4年8月29日～令和4年9月4日)

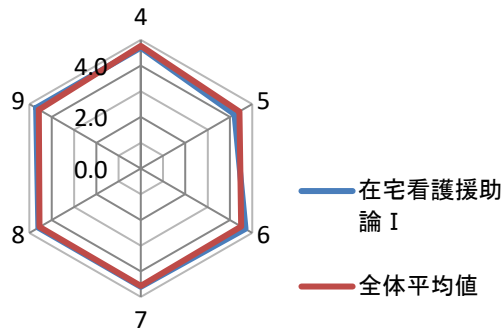
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	在宅看護援助論Ⅰ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.9	4.7	4.5	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.5	4.3	3.8	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	4.4	3.9	3.1	5.0

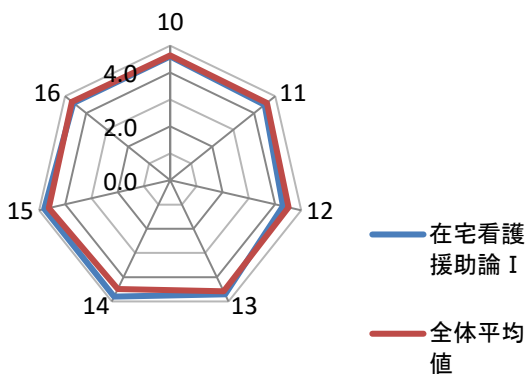
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	在宅看護援助論Ⅰ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.7	4.8	4.5	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.2	4.4	4.0	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.7	4.5	4.0	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.6	4.6	4.3	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.6	4.6	4.0	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.7	4.6	4.3	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	在宅看護援助論Ⅰ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.6	4.6	4.2	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.5	4.6	4.2	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.3	4.5	4.0	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.7	4.6	3.8	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型 (Zoom) 授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.8	4.5	3.8	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.6	3.9	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.6	4.7	4.3	5.0

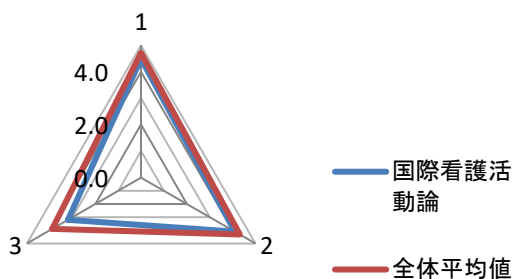
令和4年度第2学年前期「国際看護活動論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
86	55	64%

実施時期(令和4年8月29日～令和4年9月4日)

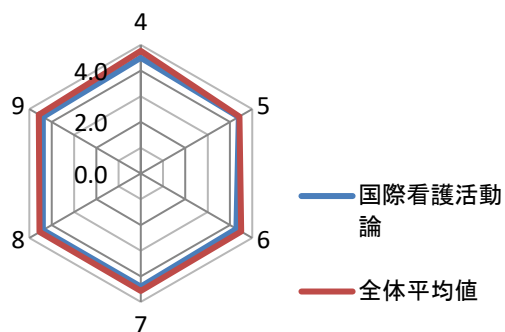
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	国際看護活動論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.5	4.7	4.5	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.1	4.3	3.8	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	3.2	3.9	3.1	5.0

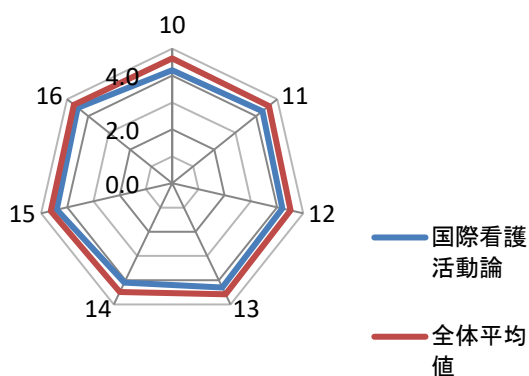
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	国際看護活動論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.5	4.8	4.5	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.4	4.4	4.0	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.3	4.5	4.0	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.4	4.6	4.3	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.4	4.6	4.0	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.4	4.6	4.3	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	国際看護活動論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.2	4.6	4.2	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.3	4.6	4.2	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.2	4.5	4.0	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.3	4.6	3.8	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型 (Zoom) 授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.1	4.5	3.8	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.4	4.6	3.9	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.5	4.7	4.3	5.0

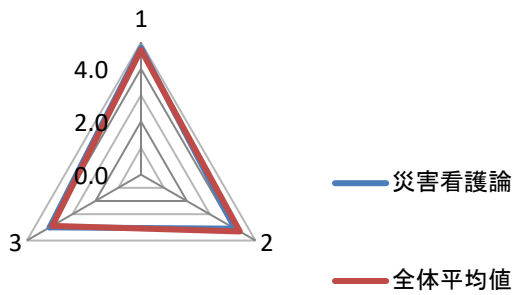
令和4年度第2学年前期「災害看護論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
86	8	9%

実施時期(令和4年8月29日～令和4年9月4日)

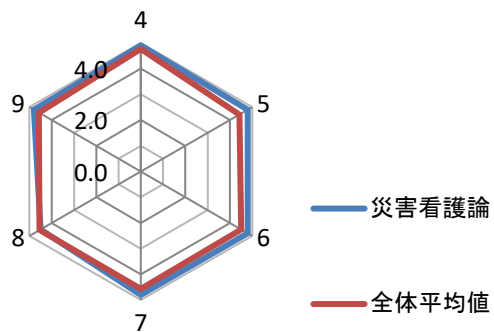
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	災害看護論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.8	4.7	4.5	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.1	4.3	3.8	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	4.0	3.9	3.1	5.0

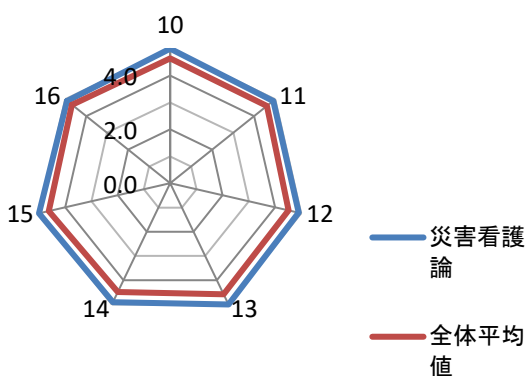
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	災害看護論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.9	4.8	4.5	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.8	4.4	4.0	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.8	4.5	4.0	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.8	4.6	4.3	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.5	4.6	4.0	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.8	4.6	4.3	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	災害看護論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	5.0	4.6	4.2	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.9	4.6	4.2	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.9	4.5	4.0	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	5.0	4.6	3.8	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.9	4.5	3.8	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	5.0	4.6	3.9	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.9	4.7	4.3	5.0

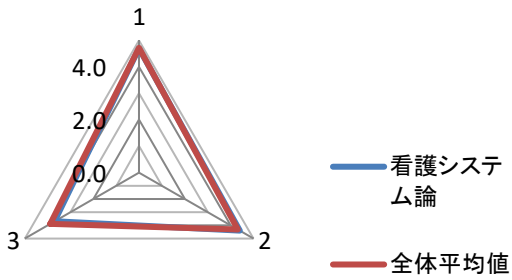
令和4年度第2学年前期「看護システム論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
86	18	21%

実施時期(令和4年8月29日～令和4年9月4日)

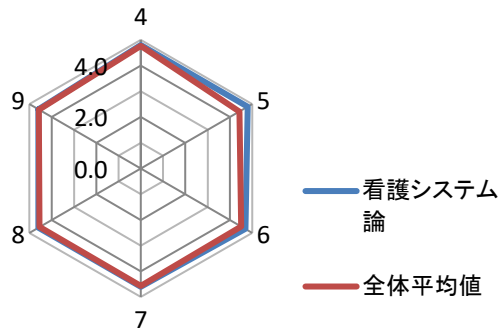
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	看護システム論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.7	4.7	4.5	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.4	4.3	3.8	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	3.7	3.9	3.1	5.0

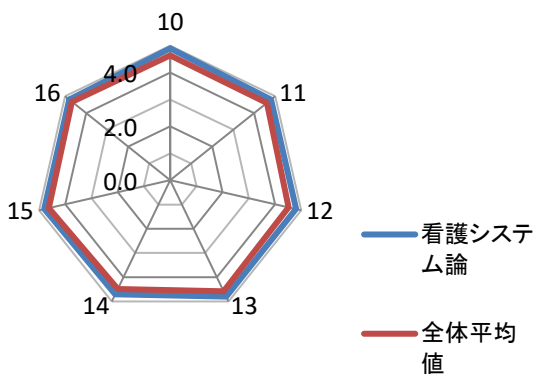
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	看護システム論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.8	4.8	4.5	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.8	4.4	4.0	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.7	4.5	4.0	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.6	4.6	4.3	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.6	4.6	4.0	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.6	4.6	4.3	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	看護システム論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.9	4.6	4.2	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.8	4.6	4.2	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.5	4.0	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.8	4.6	3.8	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型 (Zoom) 授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.7	4.5	3.8	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.6	3.9	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.8	4.7	4.3	5.0

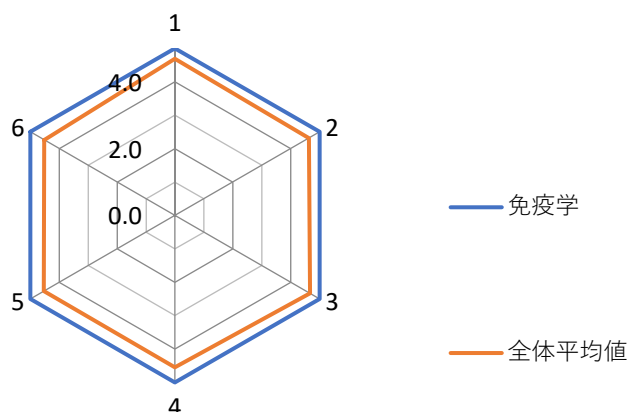
令和4年度第2学年後期「免疫学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
86	1	1%

実施時期(令和4年12月23日～令和4年12月25日)

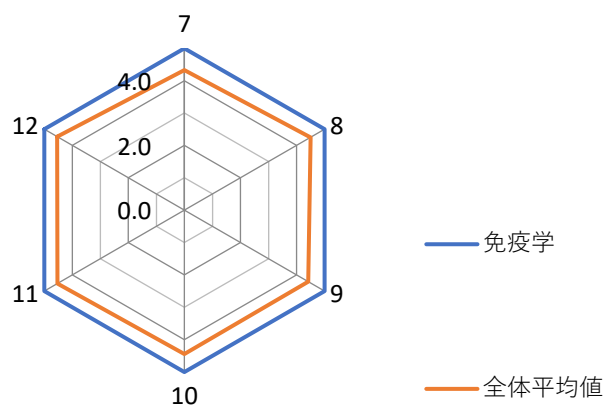
問1. 授業内容



問1. 授業内容

	免疫学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 シラバスに沿って授業が進められた。	5.0	4.7	4.0	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	5.0	4.6	4.0	5.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	5.0	4.7	4.0	5.0
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	5.0	4.5	3.0	5.0
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	5.0	4.5	3.0	5.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	5.0	4.5	3.0	5.0

問2. 授業方法



問2. 授業方法

	免疫学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
7 教員の話す速度や声量は適切であっ	5.0	4.3	2.0	5.0
8 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	5.0	4.5	3.0	5.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	5.0	4.4	2.0	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	5.0	4.4	2.0	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	5.0	4.5	3.0	5.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	5.0	4.5	3.0	5.0

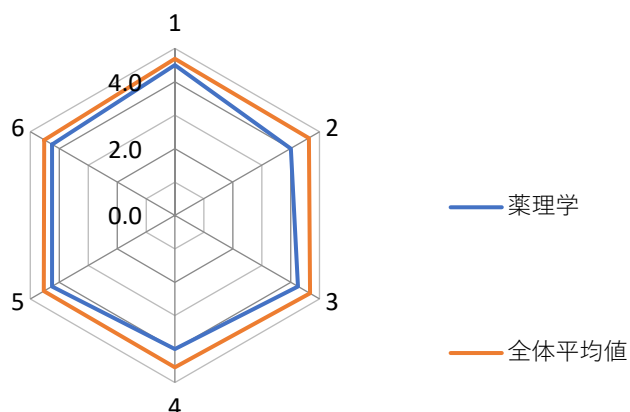
令和4年度第2学年後期「薬理学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
87	4	5%

実施時期(令和5年1月17日～令和5年1月19日)

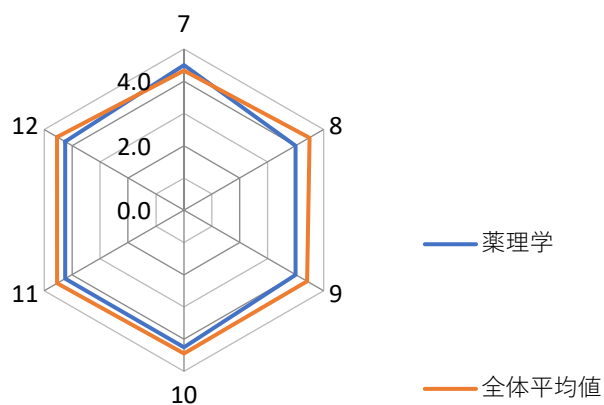
問1. 授業内容



問1. 授業内容

	薬理学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 シラバスに沿って授業が進められた。	4.5	4.7	4.0	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	4.0	4.6	4.0	5.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	4.3	4.7	4.0	5.0
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	4.0	4.5	3.0	5.0
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	4.3	4.5	3.0	5.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	4.3	4.5	3.0	5.0

問2. 授業方法



問2. 授業方法

	薬理学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
7 教員の話す速度や声量は適切であっ	4.5	4.3	2.0	5.0
8 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	4.0	4.5	3.0	5.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	4.0	4.4	2.0	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	4.3	4.4	2.0	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	4.3	4.5	3.0	5.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.3	4.5	3.0	5.0

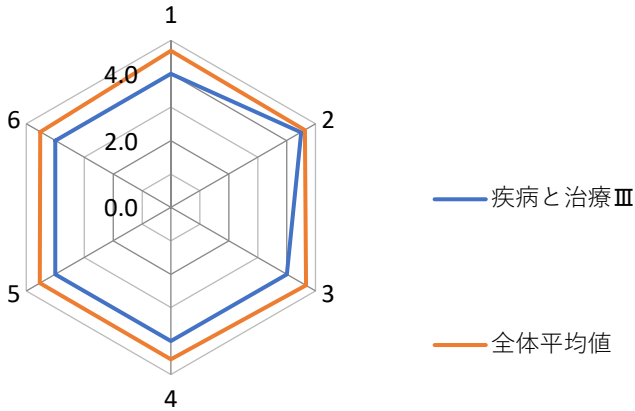
令和4年度第2学年後期「疾病と治療Ⅲ」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
87	2	2%

実施時期(令和4年12月21日～令和4年12月23日)

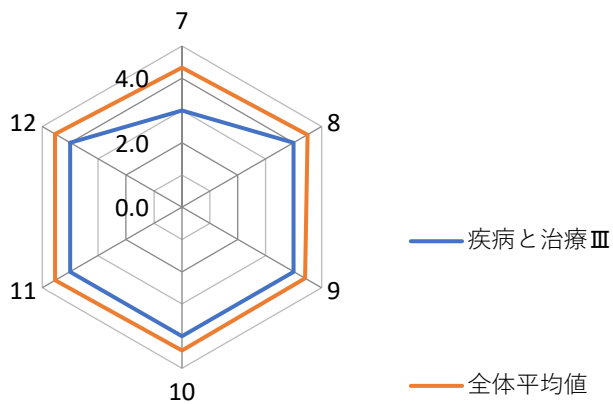
問1. 授業内容



問1. 授業内容

	疾病と治療Ⅲ	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 シラバスに沿って授業が進められた。	4.0	4.7	4.0	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	4.5	4.6	4.0	5.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	4.0	4.7	4.0	5.0
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	4.0	4.5	3.0	5.0
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	4.0	4.5	3.0	5.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	4.0	4.5	3.0	5.0

問2. 授業方法



問2. 授業方法

	疾病と治療Ⅲ	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
7 教員の話す速度や声量は適切であっ	3.0	4.3	2.0	5.0
8 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	4.0	4.5	3.0	5.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	4.0	4.4	2.0	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	4.0	4.4	2.0	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	4.0	4.5	3.0	5.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.0	4.5	3.0	5.0

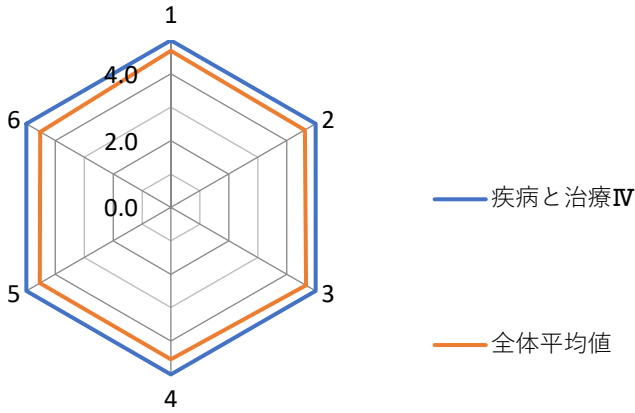
令和4年度第2学年後期「疾病と治療Ⅳ」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
85	1	1%

実施時期(令和4年11月29日～令和4年12月1日)

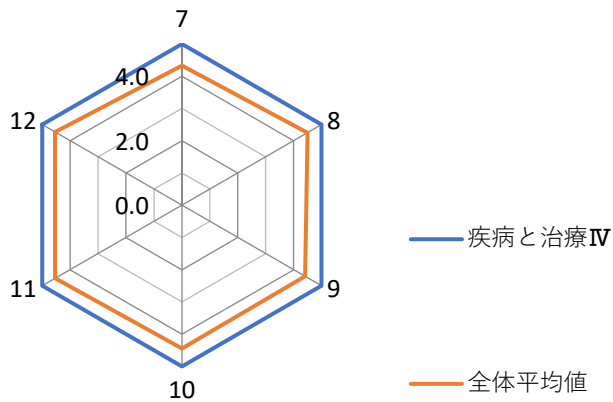
問1. 授業内容



問1. 授業内容

	疾病と治療Ⅳ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って授業が進められた。	5.0	4.7	4.0	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	5.0	4.6	4.0	5.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	5.0	4.7	4.0	5.0
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	5.0	4.5	3.0	5.0
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	5.0	4.5	3.0	5.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	5.0	4.5	3.0	5.0

問2. 授業方法



問2. 授業方法

	疾病と治療Ⅳ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
7 教員の話す速度や声量は適切であっ	5.0	4.3	2.0	5.0
8 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	5.0	4.5	3.0	5.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	5.0	4.4	2.0	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	5.0	4.4	2.0	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	5.0	4.5	3.0	5.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	5.0	4.5	3.0	5.0

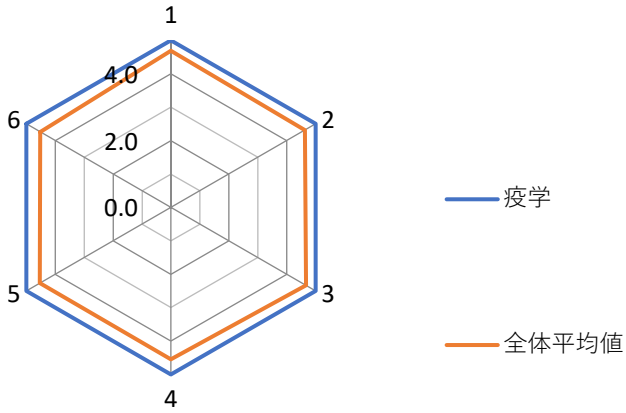
令和4年度第2学年後期「疫学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
86	3	3%

実施時期(令和5年1月16日～令和5年1月18日)

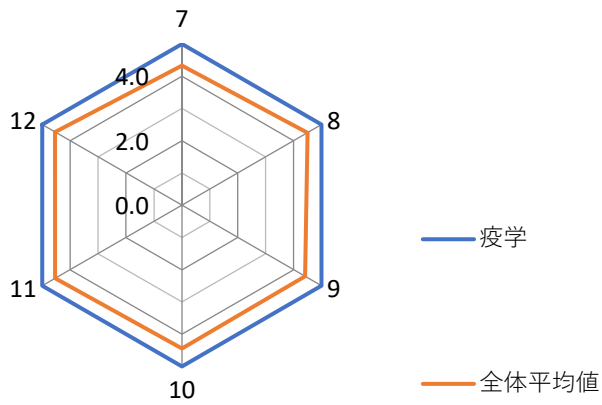
問1. 授業内容



問1. 授業内容

	疫学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 シラバスに沿って授業が進められた。	5.0	4.7	4.0	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	5.0	4.6	4.0	5.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	5.0	4.7	4.0	5.0
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	5.0	4.5	3.0	5.0
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	5.0	4.5	3.0	5.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	5.0	4.5	3.0	5.0

問2. 授業方法



問2. 授業方法

	疫学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	5.0	4.3	2.0	5.0
8 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	5.0	4.5	3.0	5.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	5.0	4.4	2.0	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	5.0	4.4	2.0	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	5.0	4.5	3.0	5.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	5.0	4.5	3.0	5.0

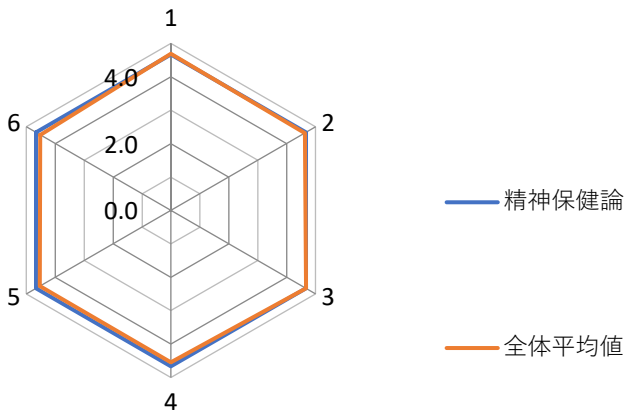
令和4年度第2学年後期「精神保健論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
86	3	3%

実施時期(令和4年11月29日～令和4年12月1日)

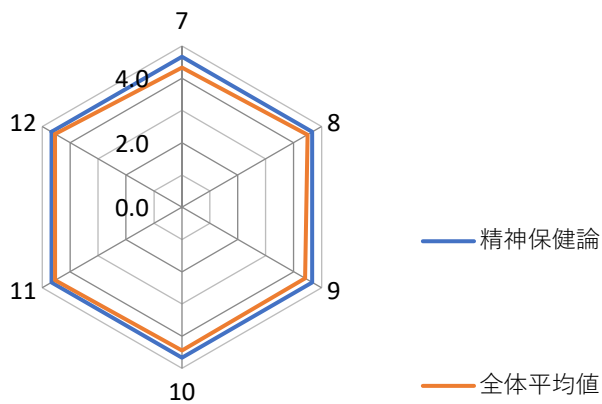
問1. 授業内容



問1. 授業内容

	精神保健論	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 シラバスに沿って授業が進められた。	4.7	4.7	4.0	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	4.7	4.6	4.0	5.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	4.7	4.7	4.0	5.0
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	4.7	4.5	3.0	5.0
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	4.7	4.5	3.0	5.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	4.7	4.5	3.0	5.0

問2. 授業方法



問2. 授業方法

	精神保健論	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
7 教員の話す速度や声量は適切であっ	4.7	4.3	2.0	5.0
8 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	4.7	4.5	3.0	5.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	4.7	4.4	2.0	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	4.7	4.4	2.0	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	4.7	4.5	3.0	5.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.7	4.5	3.0	5.0

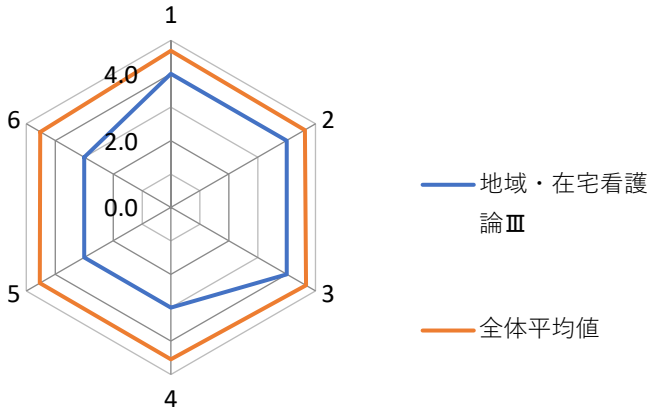
令和4年度第2学年後期「地域・在宅看護論Ⅲ」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
87	1	1%

実施時期(令和4年11月29日～令和4年12月1日)

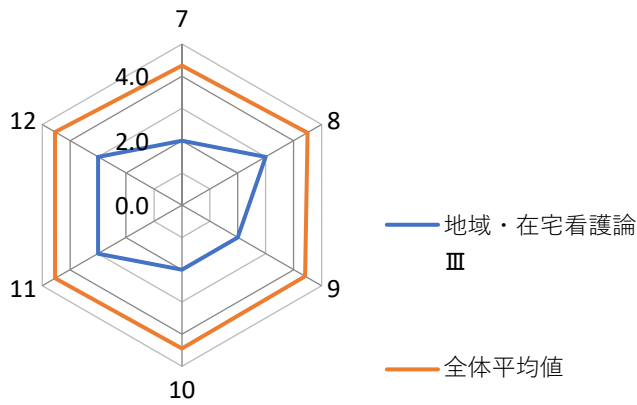
問1. 授業内容



問1. 授業内容

	地域・在宅看護論Ⅲ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って授業が進められた。	4.0	4.7	4.0	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	4.0	4.6	4.0	5.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	4.0	4.7	4.0	5.0
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	3.0	4.5	3.0	5.0
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	3.0	4.5	3.0	5.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	3.0	4.5	3.0	5.0

問2. 授業方法



問2. 授業方法

	地域・在宅看護論Ⅲ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
7 教員の話す速度や声量は適切であっ	2.0	4.3	2.0	5.0
8 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	3.0	4.5	3.0	5.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	2.0	4.4	2.0	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	2.0	4.4	2.0	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	3.0	4.5	3.0	5.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	3.0	4.5	3.0	5.0

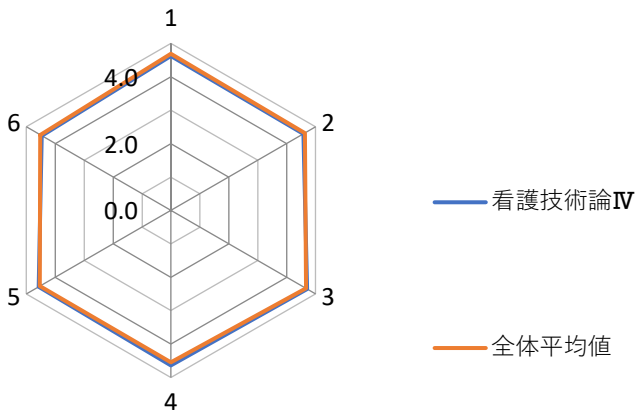
令和4年度第2学年後期「看護技術論Ⅳ」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
86	61	71%

実施時期(令和5年1月16日～令和5年1月18日)

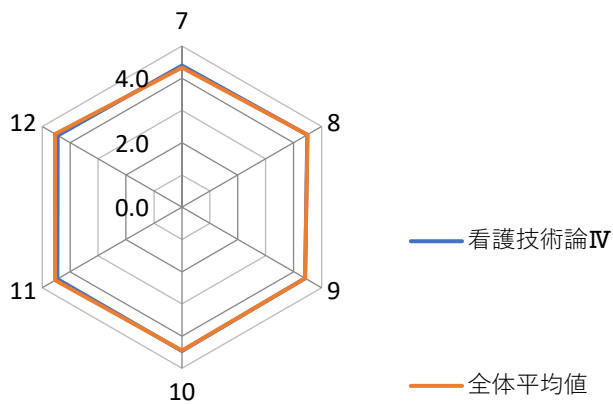
問1. 授業内容



問1. 授業内容

	看護技術論Ⅳ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って授業が進められた。	4.6	4.7	4.0	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	4.6	4.6	4.0	5.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	4.7	4.7	4.0	5.0
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	4.6	4.5	3.0	5.0
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	4.6	4.5	3.0	5.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	4.5	4.5	3.0	5.0

問2. 授業方法



問2. 授業方法

	看護技術論Ⅳ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.4	4.3	2.0	5.0
8 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	4.5	4.5	3.0	5.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	4.4	4.4	2.0	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	4.5	4.4	2.0	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	4.5	4.5	3.0	5.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.4	4.5	3.0	5.0

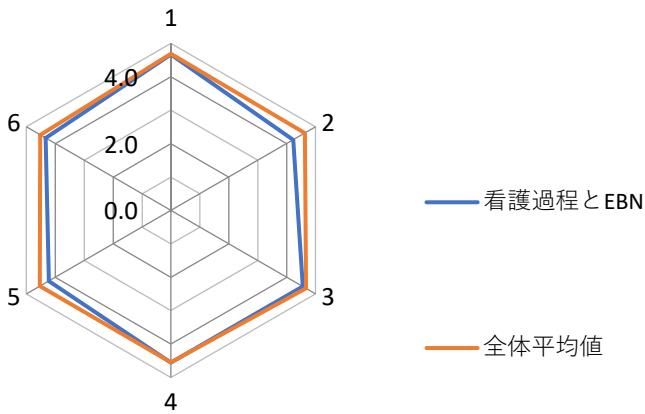
令和4年度第2学年後期「看護過程とEBN」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
88	9	10%

実施時期(令和5年1月17日～令和5年1月19日)

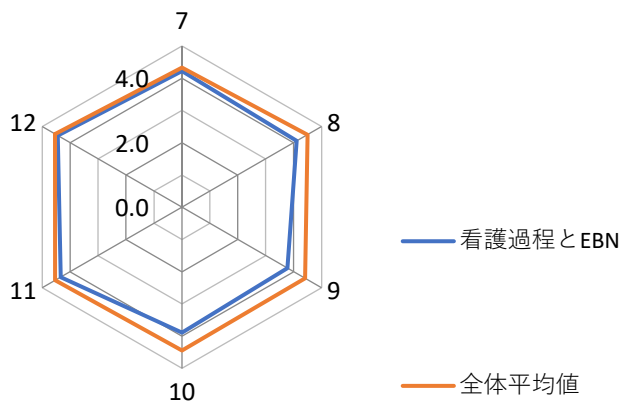
問1. 授業内容



問1. 授業内容

	看護過程とEBN	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って授業が進められた。	4.7	4.7	4.0	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	4.2	4.6	4.0	5.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	4.6	4.7	4.0	5.0
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	4.6	4.5	3.0	5.0
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	4.2	4.5	3.0	5.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	4.3	4.5	3.0	5.0

問2. 授業方法



問2. 授業方法

	看護過程とEBN	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
7 教員の話す速度や声量は適切であっ	4.2	4.3	2.0	5.0
8 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	4.1	4.5	3.0	5.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	3.8	4.4	2.0	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	3.9	4.4	2.0	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	4.3	4.5	3.0	5.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.4	4.5	3.0	5.0

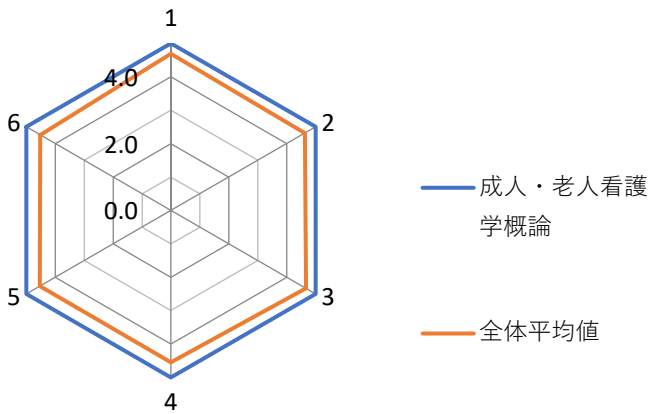
令和4年度第2学年後期「成人・老人看護学概論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
86	1	1%

実施時期(令和4年11月29日～令和4年12月1日)

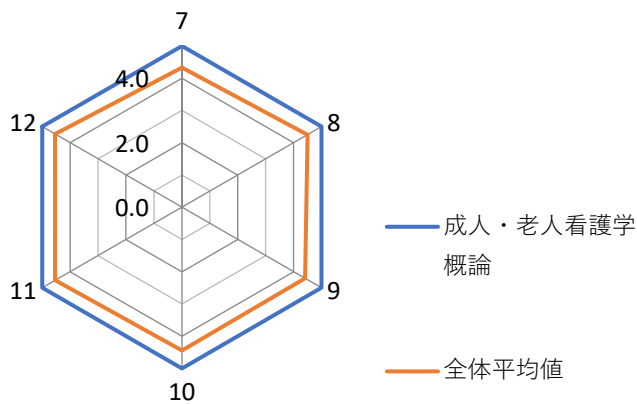
問1. 授業内容



問1. 授業内容

	成人・老人看護学概論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って授業が進められた。	5.0	4.7	4.0	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	5.0	4.6	4.0	5.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	5.0	4.7	4.0	5.0
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	5.0	4.5	3.0	5.0
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	5.0	4.5	3.0	5.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	5.0	4.5	3.0	5.0

問2. 授業方法



問2. 授業方法

	成人・老人看護学概論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	5.0	4.3	2.0	5.0
8 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	5.0	4.5	3.0	5.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	5.0	4.4	2.0	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	5.0	4.4	2.0	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	5.0	4.5	3.0	5.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	5.0	4.5	3.0	5.0

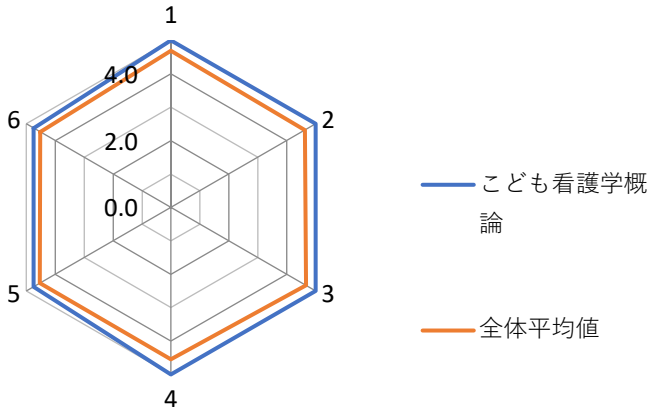
令和4年度第2学年後期「こども看護学概論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
84	4	5%

実施時期(令和4年12月19日～令和4年12月22日)

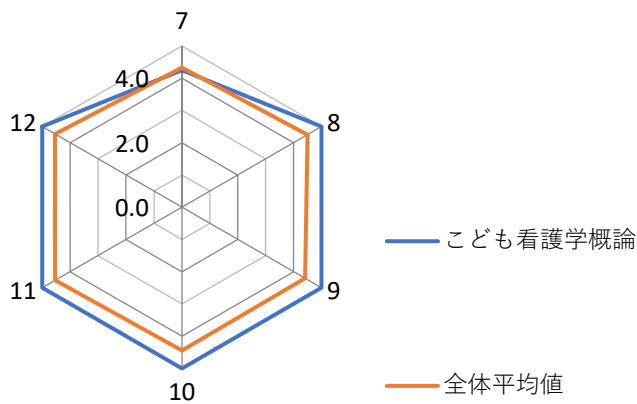
問1. 授業内容



問1. 授業内容

	こども看護学概論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って授業が進められた。	5.0	4.7	4.0	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	5.0	4.6	4.0	5.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	5.0	4.7	4.0	5.0
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	5.0	4.5	3.0	5.0
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	4.8	4.5	3.0	5.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	4.8	4.5	3.0	5.0

問2. 授業方法



問2. 授業方法

	こども看護学概論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
7 教員の話す速度や声量は適切であっ	4.3	4.3	2.0	5.0
8 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	5.0	4.5	3.0	5.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	5.0	4.4	2.0	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	5.0	4.4	2.0	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	5.0	4.5	3.0	5.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	5.0	4.5	3.0	5.0

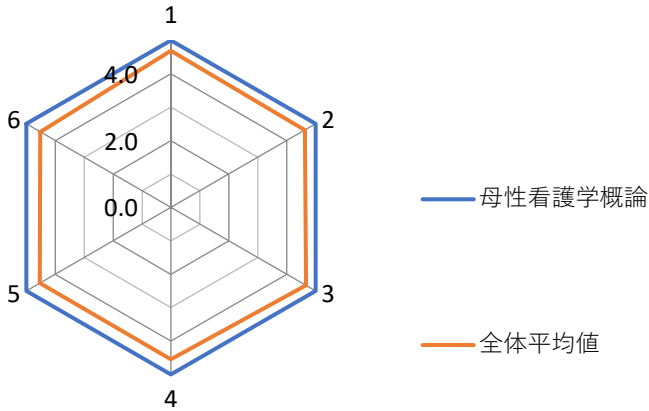
令和4年度第2学年後期「母性看護学概論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
86	1	1%

実施時期(令和4年11月29日～令和4年12月1日)

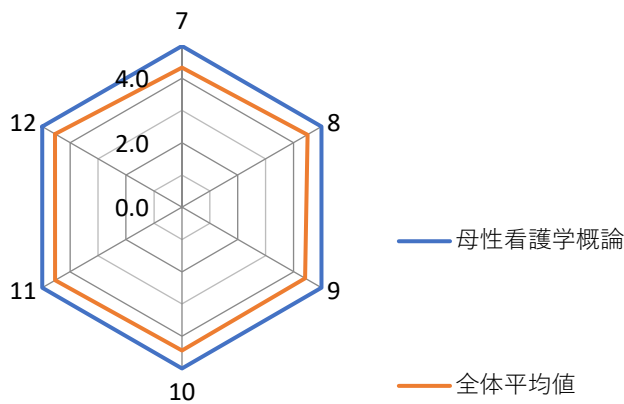
問1. 授業内容



問1. 授業内容

	母性看護学概論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って授業が進められた。	5.0	4.7	4.0	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	5.0	4.6	4.0	5.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	5.0	4.7	4.0	5.0
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	5.0	4.5	3.0	5.0
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	5.0	4.5	3.0	5.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	5.0	4.5	3.0	5.0

問2. 授業方法



問2. 授業方法

	母性看護学概論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
7 教員の話す速度や声量は適切であっ	5.0	4.3	2.0	5.0
8 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	5.0	4.5	3.0	5.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	5.0	4.4	2.0	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	5.0	4.4	2.0	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	5.0	4.5	3.0	5.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	5.0	4.5	3.0	5.0

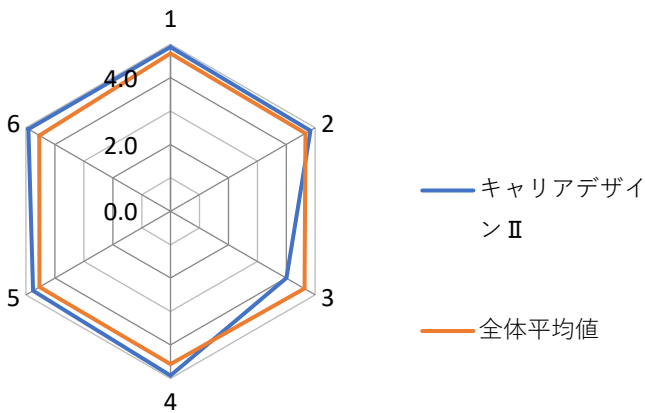
令和4年度 第2学年 後期 「キャリアデザインⅡ（発展）」 授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
86	12	14%

実施時期(令和4年11月8日～令和4年11月10日)

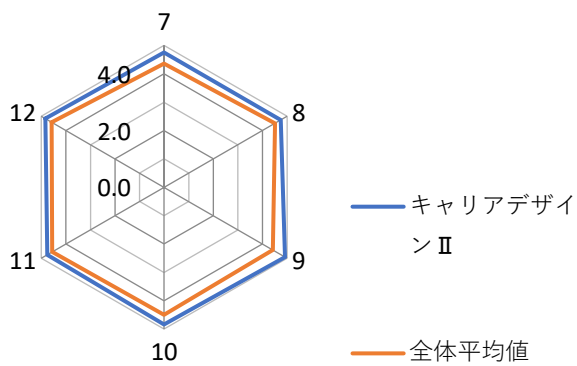
問1. 授業内容



問1. 授業内容

	キャリアデザインⅡ	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値	
1	シラバスに沿って授業が進められた。	4.9	4.7	4.0	5.0
2	授業内容は理解できるものであった。	4.8	4.7	4.0	5.0
3	授業内容は興味や関心が持てるものであった。	4.0	4.6	4.0	5.0
4	自主性をもって学習することができた内容であった。	4.9	4.6	3.0	5.0
5	授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	4.8	4.5	3.0	5.0
6	授業内容は満足のできるものであった。	4.9	4.5	3.0	5.0

問2. 授業方法



問2. 授業方法

	キャリアデザインⅡ	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値	
7	教員の話す速度や声量は適切であった。	4.8	4.4	2.0	5.0
8	専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	4.8	4.5	3.0	5.0
9	教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	4.9	4.4	2.0	5.0
10	授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	4.8	4.5	2.0	5.0
11	教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	4.8	4.6	3.0	5.0
12	学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.8	4.6	3.0	5.0

令和4年度 第2学年 後期「看護基礎実習Ⅱ」授業評価結果 ※通常実習

履修者数	回答者数	回答率
83	15	18%

I. 実習内容

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない	看護基礎実習Ⅱ	平均
1 自主性をもって実習することができる実習であった。	15	0	0	0	0	5.0	4.7
2 実習の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	13	2	0	0	0	4.9	4.7
3 実習内容は満足のできるものであった。	12	1	2	0	0	4.7	4.6

II. 実習方法

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない	看護基礎実習Ⅱ	平均
4 実習要項に沿って実習が進められた。	12	0	3	0	0	4.6	4.6
5 実習オリエンテーションは学習を進める上で助けになった。	10	2	1	2	0	4.3	4.5
6 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	10	3	1	1	0	4.5	4.5
7 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	11	1	1	1	1	4.3	4.4
8 教員からの助言や指導は学習を進める上で役立った。	10	2	2	1	0	4.4	4.5
9 教員と実習施設の連携が図られていた。	9	2	2	1	1	4.1	4.4

III. 実習施設

	そう思う	だいたいそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	まったく思わない	看護基礎実習Ⅱ	平均
10 実習施設の指導者から適切な指導・援助を受けることができた。	12	3	0	0	0	4.8	4.5
11 実習施設は学習目標や方法を理解していた。	10	5	0	0	0	4.7	4.6
12 実習施設は学生の安全に配慮していた。	12	3	0	0	0	4.8	4.6
13 実習施設は学習目標を達成するために十分な設備が整えられていた。	12	2	1	0	0	4.7	4.7